

ひとり1改革運動

「県民目線で仕事のやり方を見直そう」改革賞

“ゆずりあい”精神の道路交通システムで走行支援

【交通基盤部道路整備課 県市町道班、島田土木事務所川根支所 工事班】

【道路整備課 県市町道班】



【川根支所 工事班】



山間部にはすれ違い困難な区間が多数存在しており、山間部の地形的特徴から道路を拡幅するためには多くの費用や期間を要することから整備が進まず、道路幅の狭さやトンネル出口での見通しの悪さに対して地元からの早期改善要望が出ていました。

そこで、早期改善に向けて、高知工科大学と連携して“ゆずりあいロード支援システム”を川根本町に2箇所導入することにしました。

その結果、道路拡幅工事ではなく、システム導入というソフト対策を実施することで、早期かつ低コストでの改善を図ることができました。工事と比較して、約10年の時間短縮と約5億円のコスト縮減を達成できました。また、県民から感謝のお手紙をいただく等県民サービスの向上も実現しました。

工夫した点は？

- ・ 対向車の接近を知らせる表示板について、視覚的に分かりやすいイメージ表示（動的ピクトグラム）を採用しました。
- ・ 山間部では電力供給が難しいため、ソーラータイプのものを採用しました。

留意した点、苦労した点は？

- ・ システムの技術的な面については、高知工科大学の指導や高知県との連携により事業を進めました。

※連携先：高知工科大学、高知県

今後に向けてさらなる取組は？

- ・ H25年度からH26年度にかけて導入したシステムの効果検証を行い、必要に応じて改善を図りながら、県内の他箇所にも導入を図りたいです。



【「ゆずりあいロード支援システム」の概要】

<システムを導入した箇所>



県道川根寸又峽線（川根本町奥集）

【実際のシステム導入箇所の様子】

【静岡県立大学 西野教授 から一言】

すれ違い困難な道路の拡幅には、多額の予算と長い工期を要します。本システムを導入することにより格段に低額の予算で利便性向上を実現しました。

システム自体は他地域で開発されたものですが、優れたものをすぐに取り入れる姿勢は、ひとり1改革運動の特徴です。今後の導入箇所増大によるカネ、時間の削減効果は巨額となるでしょう。

ひとり1改革運動

「県民目線で仕事のやり方を見直そう」改革賞

就活イベントを一元的にお知らせ

【経済産業部雇用推進課 雇用推進班】



学生が県内で行われる合同ガイダンス等の情報を得る場合、個別に実施機関・団体等のHPを調べる必要がありました。そのため、就活情報の入手に時間や手間がかかり、学生から情報収集が不便だという声がありました。

そこで、「しずおか産学就職連絡会」と連携して、県内で就活イベントを開催する機関・団体等から「いつ・どこで・どのような」イベントが開催されるかという情報を集め、その情報を県のHP「しずおか就職情報」にカレンダー形式で「静岡県就活イベントNavi」として掲載しました。

その結果、HPへの1日当たりの平均アクセス数が3割増加する等、情報収集における利便性を向上させることができました。

工夫した点は？

・就活イベントごとに対象の卒業年次が異なるため、全ての情報を一括で載せるのではなく、卒業年次ごとに情報を掲載しました。

留意した点、苦労した点は？

・就活イベントを開催する機関が複数あるので、情報の正確性に気をつけました。
・職員が手作りで作成したため、ページのデザインやレイアウトに苦労しました。

今後に向けてさらなる取組は？

・現在は、県内の主要な機関・団体が開催する就活イベントのみを掲載していますが、将来的には、県内で行われる全ての就活イベントを掲載したいと考えています。
・全国的にも珍しい取組なので、今後も本取組の周知・広報に努めていきたいです。

静岡県 就活イベント Navi(2015)					
2013年12月					
日	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2	合同企業ガイダンス (浜松) 主催：静岡県新卒就活センター	しずおかの会社展 見！ゼミナー (静岡) 主催：ゆなナビ			しずおか大学・インターン ゼミナー(東京) 主催：ゆなナビ
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					

【「静岡県就活イベントNavi」(一部)】



【「イベントNavi」に掲載された合同ガイダンスの様子！】

学校法人新静岡学園 大坪理事長から一言

“行政のマーケティング”というマーケティング志向が行政活動で発揮された印象深い改革です。ユーザー（県民・学生）の志向、行動パターン、視点をベースに“広報”のアプローチを組み直す、デザインすることの重要性が再確認されました。

他部署でもこのアプローチを参考にさせていただきたいです。